

平成14年度 全国高等学校総合体育大会
(第20回 日本高等学校選手権水泳競技大会)

水球競技速報用紙

平成 14 年 8 月 18 日
会場: 茨城県・ひたちなか市営石川町プール

2回戦

8

帽子の色

白

富山北部高校
5

天候: 曇り

1	-	2
0	-	4
2	-	2
2	-	5
EX.		
-		
P.T.		
-		

黒

帽子の色

長浜北星高校
13

審判1: 大川和二郎
審判2: 若林 和人

戦評

富山北部は、創部5年目で5年連続5回目の出場。高藤を大会2日前の公式練習で肩脱臼のアクシデントで欠き、7人のメンバーで試合に挑む。一方、長浜北星は、4年連続15回目の出場で、S56'に優勝の経験がある。今大会は3年生が1人で2年生中心のチーム編成でベスト4を目指す。

1P 長浜5'55''に 田中が左からのミドルシュートで先制。両チームのターンオーバーが続く。富山も反撃し、境田が左からミドルシュートを決める。長浜のフローターディフェンスがナイスセーブ連続。富山退水から、山口が追加得点。1ピリオド(1-2) 2P スローペースで展開。4'29''に長浜 清水がカウンターからワックタッチシートを決め、引き離しにかかる。さらに 清水連続で得点。長浜のプレスディフェンスが機能する。そして富山のペナルティーファールから長浜 山口が決める(1-6)。3P 長浜は下がり目を敷き、フローターを完全にマークする。しかし、2'32''富山 小杉が執念でフローティングシュートを決める。2'15''長浜退水、富山はすかさずタイムアウトを取り攻めるが得点出来ず。逆に長浜のカウンターアタックから1'49 田中が得点。富山も追いつき、1'28''富山 布目がミドルのハーフループシュートを決める(3-7)。0''長浜 田中がカウンターアタックで加点(3-7)。4P 6'13''富山 横井が永久退水。富山は交代がいないので、6人となってしまった。その後、完全に長浜ペースになり、長浜は得点を続ける。しかし、富山も粘り、長浜のマークが甘くなったところをついて、小杉、藤川が執念でゴールを奪った。4ピリオド(5-13)。

この試合は、長浜の中盤のプレスとゾーンディフェンスが有効に機能し、富山の攻撃を押さえいていた。長浜のカウンターの泳力も目に見張るものがあった。富山はシュート力があり、メンバーが8人揃っていれば、もっと良い試合が出来た筈だ。

記録者

石塚 学